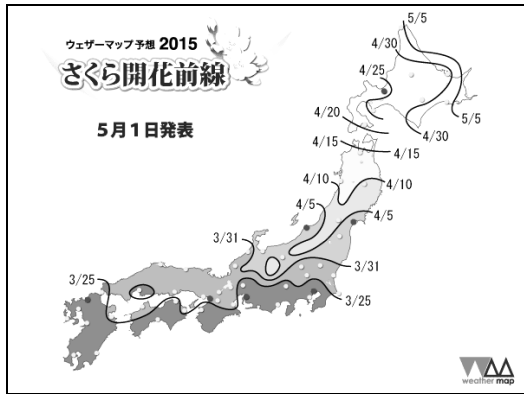




## 気象情報から

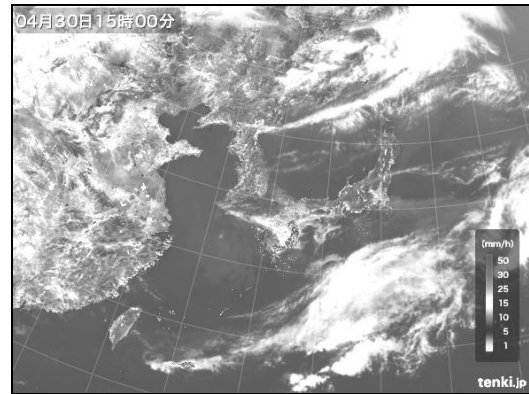
毎日のように、お天気の情報ニュースや新聞、インターネットなどで知ることができます。

4・5年生はそれに関係する学習を進めてきました。



<http://sakura.weathermap.jp/>

「あれ？ 北海道にはまだサクラが咲いていない場所がある。なぜだろう？」  
「佐賀と北海道の気温を調べてみると、佐賀でサクラがさいた3/25は20℃あったけれど、そのとき北海道は9℃しかなかった。」



<http://www.tenki.jp/>

「九州に雲がかかっているけれど、昨日もここから動かなかつたから、明日もくもりか雨だろう。」  
「天気は西から東に動く。九州の西の海に雲がないから、明日は晴れるだろう。」

いろいろな情報を使って、予想することは難しいですがおもしろいものです。目の前で起こっていることには理由があったり、視野を広げればちがうことが起こっている事実に出あったりできます。過去から推測したり、現在から未来を推測したりするのも理科のおもしろいところです。

## 箱根の山がたいへん

### 4年生の3学期の学習から考えてみよう！

ゴールデンウィーク中、神奈川県箱根山がふん火しそうだというニュースがありました。映像を見ると、もくもくと水蒸気が出ていて、専門家の人が「『水蒸気ふん火（ばくはつ）』が起こりそうです」と言っていました。ところで「水蒸気ふん火」って何なのでしょうね？ 箱根山はどんな仕組みでふん火してしまうおそれがあるのでしょうか？ 下の図がヒントのようです。

山の面はびんのふたがしまっているように、かたい。



Yahoo 検索より

ジャンプ

水じょう気たいせきの体積は水の1700倍

はってん

水が水じょう気になると、体積はおよそ1700倍になります。

なべにふたをして水をふっとうさせると、ふたがおどるようにもち上がるのは、水がふっとうして、水じょう気になり、体積がふえるからです。



昨年の4年生理科2の教科書P. 70

## 空気中のちっ素

空気中には、ちっ素が約78%もあります。でもものを燃やす働きはない。たくさんあるのに。不思議なものです。いかに酸素や二酸化炭素の存在感が大きいかが分かります。

## 今、学習していること

### 6年

#### 「ものの燃え方」

理科室で実験をしています。空気の成分である「窒素」「酸素」「二酸化炭素」の性質を調べています。水と空気を入れかえて気体を集めたり、見えない気体の正体を見抜くための薬品や器具を使ったりしています。みんなで安全メガネを使って実験したのが、なんだかワクワクしましたね。

### 5年

#### 「天気の変化」

天気予報でよく見る、衛星画像をパソコンで見て、明日の天気を予想する学習をしました。天気のうつりかわりは「西から東に変わることが多い」という日本独特のきまりから、どこに注目すれば分かるのか学習しました。ぜひ、家族でお天気ニュースを見て、一緒に考えて見てはいかがでしょう。

### 4年

#### 「季節と生き物(春)」

宿題に出していた、生き物の観察を終え、気温が上がると草花や昆虫などが増えたり活発に動くことを導き出したりしました。サクラ前線についてもニュースでよく見るような地図を見せ、北海道では5月ようやくサクラがさくことに気づき、びっくりしていました。気温の違いでかわることに改めて気づいたようです。

さて、表の問題について、自分なりに説明することができたら、下の解答らんらんに説明してみてください。自分なりに言葉にして書くことができれば、力がついている証拠です。5、6年生は習ったことが使えるかな？ 4年生はこれからの習うことだけど、ちょっと考えてみよう。書けた人は下を切り取って、堂角田のところところに手渡してください。君の挑戦を待っています。

きりとり

年 組 番 名前 ( )

### 「水蒸気ふん火」って、何？



**水じょう気すいじょうきの体積たいせきは水の1700倍**

水が水じょう気すいじょうきにかわると、体積はおよそ1700倍になります。

なべなべにふたふたをして水をふっとうふっとうさせると、ふたがおどるおどるようにもち上がるのは、水がふっとうふっとうして、水じょう気すいじょうきになり、体積たいせきがふえるからです。

×切は、5月18日(月)まで。でも、18日が過ぎてからわたしてもいいですよ。